

アセスメントポリシー

京都光華大学短期大学部

京都光華大学短期大学部では、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーに基づき、短期大学部全体、学科毎、科目毎の3段階で、学修成果等を検証する。

1. 短期大学部全体（機関レベル）のアセスメントポリシー

- ・学生の卒業率、就職率／進学率、卒業時に実施する大学教育に関する満足度アンケート等から、学生の学修成果の達成状況を検証する。
- ・検証結果は、本学の現状把握、全学的な教育改革・改善、学生・学習支援の改善等に活用する。

2. 学科毎（教育課程レベル）のアセスメントポリシー

- ・学科の所定の教育課程における卒業要件達成状況、単位取得状況、GPA、資格の取得状況等から教育課程全体を通じた学修成果の全般的達成状況を検証する。
- ・科目の到達目標達成度を集約することにより、ディプロマポリシー（DP）あるいはミドルレベル・ディプロマポリシー（MDP、分野ごとの到達目標）の達成度自体を数値化し、学修成果の可視化のための指標として用い、具体的にDPやMDPの達成状況を検証する。また、外部客観テストとの相関を分析することにより、到達目標／評価体系の妥当性を検証する。

3. 科目毎（科目レベル）のアセスメントポリシー

- ・シラバスで提示された授業科目の到達目標に対する評価（教員評価および学生自己評価）や学生による授業評価等の結果から、科目ごとの学修成果の達成状況を検証する。
- ・科目の成績評価は、科目の特性や到達目標などを踏まえて、教員がシラバスに明示した評価方法に沿って行う。
- ・「学士／短期大学士課程の質保証のための指導の精緻化と評価の厳格化」で示すガイドラインに沿って、精緻な指導、精緻な評価を行う。

4. 検証方法

	入学前・入学時 (アドミッションポリシーを満たす人材かどうかの検証)	在学中 (カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに則って学修が進められているかどうかの検証)	卒業時・卒業後 (ディプロマポリシーを満たす人材になったかどうかの検証)
機関レベル	・入学試験 ・入学生アンケート	・休学率 ・退学率 ・課外活動状況	・卒業率 ・就職率 ・進学率 ・満足度アンケート ・卒業後アンケート

教育課程レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新入生一泊研修活動状況 ・ 入学前教育 ・ 外部客観テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単位取得状況 ・ GPA ・ DP の達成度 ・ MDP の達成度 ・ 外部客観テスト ・ 資格取得状況 ・ 正課外の学修時間数 ・ 休学率 ・ 退学率 ・ 学習行動調査 ・ 課外活動状況 ・ 目標設定シート／ふりかえりシートによる学生の目標達成度自己評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業要件達成状況 ・ GPA ・ DP の達成度 ・ MDP の達成度 ・ 資格取得状況 ・ 満足度アンケート ・ 卒業後アンケート ・ 目標設定シート／ふりかえりシートによる学生の目標達成度自己評価
科目レベル		<ul style="list-style-type: none"> ・ 成績評価 ・ 成績分布（GP 分布） ・ 科目の到達目標達成度（教員評価、学生自己評価） ・ 授業出席率 ・ 学生による授業評価 	

以上